

●東大法卒。旧通産省、ハーバード大特別研究員、首相秘書官。  
●退官後、桐蔭横浜大客員教授を経て、衆議院議員6期。  
●著書に「首相官邸」「政界再編」「財務省のマインドコントロール」「愚直の信念」等。  
●TV・マスコミ出演多数。●1956年4月28日生。●家族妻・子供2人（子育て真っ最中）



# 衆議院議員(6期)

# 月刊 江田けんじ



えだ豆  
クリーン  
緑  
絶賛清掃中

神奈川8区/青葉区・緑区・都筑区 在田東町・在田南町  
在田東・在田南・大丸

発行所 憲政研究会(衆議院議員 江田けんじ事務所) Vol.30  
〒227-0062 横浜市青葉区青葉台2-9-30 TEL:045-989-3911 FAX:045-989-3912

## 自民、カジノ(バクチ)解禁法案を強行!! 人の不幸を踏み台に経済成長?観光立国?それが日本の「国柄」か!?



### 横浜市民の皆さんに もう一度、問いたい

横浜は横浜らしい魅力で  
「街づくり」をしていけば良い!  
カジノ抜きの「横浜ハーバーリゾート構想」(横浜港運協会)  
国際クルーズ拠点・中長期滞在型ホテル  
国際展示場・見本市・劇場ホール

### カジノはバクチ、賭博、ギャンブル! 国民の大多数が反対!

(世論調査) 新聞各紙も全て反対・慎重  
賛成20%前後 v s 反対70%前後/横浜市も同様。

- (反対理由)
- 治安が悪化 **68.2%**
  - 青少年に悪影響 **57.5%**
  - 依存症が増加 **55.7%**
  - 暴力団の資金源 **32.9%**

### カジノは中毒症など対策経費大 地元商店街の消費も吸上げ!

賭博の「儲け」は負けた人のお金。差し引きゼロどころかマイナス効果大(家庭内暴力や離婚で家庭崩壊。自己破産、自殺等々)。対策経費は韓国で7.7兆円、米国で5144ドル/人。  
「共食い現象」=カジノにより周辺地域の消費減少、地場産業の倒産、税収減。米国では40%~60%の「消費吸上げ」が発生。

### どこが「世界最高水準」の カジノ規制か!

週3回(月10回)を限度に入場制限。しかし、週3回も行くのは既にギャンブル中毒!入場料6000円も効果なし。韓国では「自国民利用可のカジノ」は「公営」かつ都会から車で2.5時間以上という設置基準。地域住民の利用は月1回に限定。

### 「民間賭博」の解禁は日本初 競輪、競馬等は「公設・公営」に限定

カジノは「100%民間」かつ「外資系」企業が経営。トランプ大統領への献金企業も参入予定。

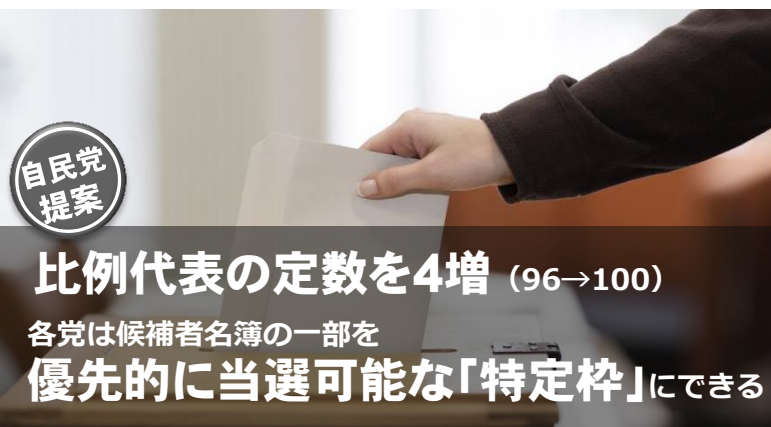


カンウォンランド(韓国)の悲劇

私は昨年6月、韓国で唯一韓国人が入場できるカジノ、カンウォン(江原)ランドを訪問しました。そこで見たものは、カジノ誘致に対する当初の期待とはほど遠い、荒れ果てた苦悩する街の姿でした。自殺率トップで、風俗店と質屋が建ち並ぶ「奇怪な風景の街」。中毒症患者が野宿し地域住民と諍い、あまりの風紀や治安の乱れに小学校も隣の町に移転、15万人の人口は3.8万人に減少しました。

地域社会や雇用の維持のために、  
カジノ誘致は「必要悪」だったが...  
風俗店と質屋が建ち並ぶ「奇怪な風景の街」に

# 国民には負担増(増税)!議員には甘い汁!! 安倍自民党、公約違反の「参院議員6人増法案」を強行!!



## 比例代表の定数を4増 (96→100)

各党は候補者名簿の一部を優先的に当選可能な「特定枠」にできる

3年ごとの改選で50議席ずつを各党に配分																									
●党 = 5議席	▲党 = 4議席																								
<table border="1"> <tr><td>当 ① Aさん</td><td>-----</td></tr> <tr><td>当 ② Bさん</td><td>-----</td></tr> <tr><td>当 Cさん</td><td>20万票</td></tr> <tr><td>当 Dさん</td><td>18万票</td></tr> <tr><td>当 Eさん</td><td>15万票</td></tr> <tr><td>Fさん</td><td>12万票</td></tr> </table>	当 ① Aさん	-----	当 ② Bさん	-----	当 Cさん	20万票	当 Dさん	18万票	当 Eさん	15万票	Fさん	12万票	<table border="1"> <tr><td>当 ① Gさん</td><td>-----</td></tr> <tr><td>当 ② Hさん</td><td>-----</td></tr> <tr><td>当 ③ Iさん</td><td>-----</td></tr> <tr><td>当 Jさん</td><td>15万票</td></tr> <tr><td>Kさん</td><td>10万票</td></tr> <tr><td>Lさん</td><td>9万票</td></tr> </table>	当 ① Gさん	-----	当 ② Hさん	-----	当 ③ Iさん	-----	当 Jさん	15万票	Kさん	10万票	Lさん	9万票
当 ① Aさん	-----																								
当 ② Bさん	-----																								
当 Cさん	20万票																								
当 Dさん	18万票																								
当 Eさん	15万票																								
Fさん	12万票																								
当 ① Gさん	-----																								
当 ② Hさん	-----																								
当 ③ Iさん	-----																								
当 Jさん	15万票																								
Kさん	10万票																								
Lさん	9万票																								

**特定枠 (拘束名簿)**  
政党が得た議席数に応じて優先的に当選 (名簿順)

**従来の非拘束名簿**  
残りの議席は、候補者の名前が書かれた票の多い順に当選 (名簿は順位なし)

### なぜ「特定枠」を設ける必要があるのか? 理由は?

**自民党 悩み**  
「鳥取・島根」「徳島・高知」の合区の結果、  
どちらの選挙区も現職の1名が立候補できない。

参院は3年で改選なので、  
2名×2 = **4名の自民党現職**があぶれる!



あぶれた現職を「特定枠」に登録すれば、選挙前に  
ほぼ**当選確実(露骨な救済措置!)**

来年秋から、国民の皆さんには負担増「消費増税」(8%→10%)をお願いするというのに、安倍自民党は、議員が「身を切る改革」どころか「参院議員の定数を6人増」。政治家の保身以外の何ものでもありません。

左の図をご覧ください。「鳥取・島根」「徳島・高知」の合区(前回の参院選で実施済)であぶれる一方の県の自民党参院議員の「救済」のために、選挙区ではなく「比例区」を増員(4人)し、その候補者を参院比例1位と2位で処遇する。これで選挙前に100%当選確実です。これまでの参院選の比例制度は、候補者名で投票した、その得票数で当選順位を決めるというルールでしたが、それまでも変えてしまいました。

あと2名の増員は埼玉選挙区。今は「3人区」ですが、人口増に伴い「4人区」にするというものです。

「投票価値の平等」は重要です。であれば人口減の県の「合区」を増やすなど「定数減」で対応すべきでしょう。私も官僚、政治家として40年間、この世界にいますが、こんな露骨な「党利党略」「私利私欲」は見たことがありません。衆議院も地方議会も、国民的批判に 대응して、これまで曲がりなりにも定数を減らしてきたのです。

## 安倍自民党総裁は「定数削減」を 約束して首相になった!!



野田首相「消費増税の前に定数削減を約束するなら解散する」  
安倍総裁「今、この場でしっかりやっていると約束する」

2012年11月、野田首相(当時)と安倍自民党総裁との間で党首討論が行われ、この場で安倍氏は野田氏に対し「定数削減」を約束。その結果、衆院解散が行われ、自民党が政権に復帰し、安倍氏は首相となったのです。当時の自民党の選挙公約にも「議員定数の削減など国民の求める改革を必ず断行」とあります。それに逆行する「定数増」など論外でしょう。

**参院選(来年7月)では決して忘れない!  
あとは投票行動で示すしかありません!**